

平成 31 年 2 月 21 日

守谷市議会議長 殿

委員長： 市川 和代

報告者： 川名 敏子

議会運営委員会研修報告

標記の件について、次のとおり参加したので報告します。

視察・研修日	平成 31 年 2 月 20 日（水）	
視察・研修場所	千葉県 大網白里市	
視察・研修項目	議会運営について	
参加者	守谷市側	市川和代，青木公達，梅木伸治，高橋典久，高梨恭子，寺田文彦，渡辺秀一，川名敏子，事務局長 高橋弘人
	相手側	議長 岡田憲二，議運委員長 黒須俊隆，副委員長 北田宏彦
視察・研修目的	① 定例会の運営方法について学ぶ ② 一般質問(代表質問・個人質問)の方法について学ぶ	
視察・研修内容	別紙	
研修総括 (今後の取組み等)	代表質問は，大変 積極的な新しい取り組みだ。関連質問として，会派の議員が続けて質問ができるのは，内容が深まって良いと思う。今後，守谷市らしいものを検討してみたい。	

大綱白里市と議会の概要

人口 49,620 人

総面積 58.08 km²

地方税収入…50.02 億円 歳出決算総額 155.37 億円

議員数 18 人 (5 人会派…1, 3 人会派…2, 2 人会派…2, 無会派3 人)

常任委員会…3 委員会, 議会運営委員会…7 人,

守谷市議会からの質問事項に対する回答

Q1, 代表質問の導入経緯

A, 平成 27 年から, 議運で 9 回程協議し, 平成 28 年 12 月, 試行的に開始。
導入理由は, 「会派として主張したい点が明確になり, より統一した質問ができる。」「会派で主張・意見を統一して, 執行部へ質問・要望することで一般質問の意味が深まる。」「どちらか選択できる。」であった。
反対意見としては, 議員数がそう多くない中で必要ない。等あったが 試験的にスタートした。

Q2, ヒアリング方法は同じか。

A, 一般質問通告書様式が異なり, 代表質問・関連質問を記載する欄がある。

Q3, 代表質問者はどのように決めるのか。

A, 会派内で相談する。

Q4, 代表質問の順番はどのように決めるか。

A, 会派の大きい順。人数が同じ場合は通告順。(二人会派有り)

Q5, 全ての定例会で行っている理由。

A, 「会派内で, 重複する質問を減らす。」「一般質問の選択肢を広げる。」

Q6, 全定例会で行うことの課題

A, 特に問題はない。

Q7, 代表質問の質問時間は, どのように設定しているか。

A, 代表質問・関連質問は, 答弁を含めて 90 分。

Q8, 代表質問と個人質問との質問内容の取り決めは

A, 市政全般に質問できる。市長の施政方針, 当初予算方針等に限らない。

- Q9, 一般質問（代表質問・個人質問）の見直しの検討はしているか。
A, 代表質問で関連質問者が多いと、90分では時間が足りなくなる恐れがあるが、質問時間の増加などは具体的に検討していない。

その他の質問

- 代表質問になって変わったことは。その他の改革は。
A, 市民に分かりやすくなった。

議会改革で、議場でプロジェクターを使って、地図や数字を示すことができるようにした。

議会中継はYouTubeで安価に発信している。

政務調査費は、初めにまとめて払わず、後払いにして、ホームページで情報公開している。

議長車をやめて、市内は自分の車を使用。飲食を伴う場合は、タクシーを使う。遠くはレンタカーで事務局長などが運転する。

代表質問のメリット

- ・ 会派内で共通の質問は、重複せず、掘り下げて話し合い、代表者と関連質問をする議員とで、同じ問題を違う角度から切り込んで行くことができる。

デメリット

- ・ 二人会派の場合、個人で質問すると、各60分で120分あるが、代表質問と関連質問にすると二人で90分になる。

感想

新たな議会改革に挑戦していて、数年検討を重ねた末、まずは試行的にやってみよう、と開始し、3年間実施している。他の改革も進めており参考になった。